

# 折元立身展

CONNECTING WITH YOU

折元 立身

岩井 成昭

神林 美樹

田中 仁 / 角地 智史



TATSUMI ORIMOTO Bread-Man Son + Alzheimer Mama, 1996

2016 2.13<sup>土</sup> ▶ 4.10<sup>日</sup>

休館日 | 月曜日(ただし3月21日(月)は開館)、3月22日(火)

開館時間 | 午前9時30分～午後6時(観覧券の販売は午後5時30分まで)

観覧料 | 一般1,000円(800円) 大学生・高校生800円(600円) 中学生以下無料

※( )内は団体(20名以上)・リピーター割引料金(本展観覧券の半券提示で団体料金に割引)

※会期中は、本展の観覧券で「コレクション展」もご覧いただけます

※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料(受付でご提示下さい)

主催 | 新潟市美術館

助成 | 美術館連絡協議会

協力 | 新潟県視覚障害者福祉協会、I-MEDIA国際映像メディア専門学校、社会福祉法人更生慈仁会 青松ワークス、アートキャン新潟、まちなかアート・スタジオ実行委員会



新潟市美術館  
Niigata City Art Museum

# 遠くて近い、アナタに愛を。

CONNECTING WITH YOU

歳をとること。からだの自由がきかなくなること。

「美術」はそうした現実とは無縁のものと考えてる人もいません。・・・いいえ。老いや障がい、介護、壊れていくコミュニティ、そうしたさまざまな社会の現実に対峙することも、アートの仕事です。遠くかけ離れていると思われるものが、実はアナタのすぐとなりであって、それゆえに気づかないでいることもあります。アートは、わたしたちが普段そばにあるのに気づかないでいる、わたしたちの世界そのものに光を当てて映し出す、鏡のようなものです。

なにかと、だれかと、つながるための手段、それが表現の始まり。日常の生活の中から、日々生まれてくるものをすくいあげながら、「他者」という、本当は無限に遠いかもしれない存在に、手をさしのべようとする、アートという名の挑戦をご覧ください。



未来への命名 2015

## 岩井 成昭 (いわい・しげあき 1962-)

国内外で、土地や人々との出会いをきっかけとして制作している。取材を重ね、音声や映像、インスタレーションなど、その都度もっとも適したメディアによる表現を試みてきた。新潟では空家を探してロケを行い、人の去った空間にイメージを吹き込むかのような作品を制作する一方、新しい命を宿した母親たちに、おなかのなかの子どもの名づける名前のインタビューを行い、作品化する。

左) Small Mama + Big Shoes. 1997  
右) TATSUMI ORIMOTO ART MAMA + Son September 24. 2008



## 折元 立身 (おりもと・たつみ 1946-)

日本を飛び出し、言葉の通じない国々で「パン人間」に扮した路上パフォーマンスにより注目を集める。現在は、アルツハイマー症候群の愛母を介護する日々の生活をテーマに、力強くユーモラスな表現を生み出している。ヤギ、コブタ、ウサギ、ニワトリ、アヒルなど、コミュニケーションの難しい動物たちをパートナーとしたパフォーマンスも多数。今回は、目の見えない人々とのコラボレーションに挑戦する。



角地智史 / 花を持つ 2015

## 田中 仁 / 角地 智史 (たなか・ひとし 1959- + かくち・さとし 1989-)

田中さんは、写真を得意としていつもカメラを持ち歩いている。角地さんは、アートキャンプ新潟のメンバーの一人として、障がいのある人々の創作・創造活動の支援にかかわってきた。知的障がいのある田中さんの作品を通して写真というメディアを考える角地さんのまなざしにも光を当てる。



陸のまち 2013

## 神林 美樹 (かんばんやし・よしき 1949-)

知的障がいがあり市内の福祉作業所を利用しながら、制作活動を行う。流木や廃材、もしかしたらゴミかもしれないものを材料に、たぐひなく「見えて」によって動物や妖怪など、想像豊かな造形を生みだす。

### 関連事業

#### 折元立身パフォーマンス「BREAD MAN Meets THE BLIND」

出演：折元立身氏 (本展出品作家)  
日時：2月13日 (土) 14:00～  
会場：新潟市美術館 企画展示室内 ※要当日観覧券・事前申込不要  
パン人間、美術館に現る!? 目の見えない人々にもアートを楽しんでいただきたい。折元さんを中心に、パン人間が見えない人々をエスコートします。  
■当日パフォーマンスとして登場する「パン人間」を募集します (定員10名、晴眼者可)。希望される方は往復はがき・メール・FAXのいずれかにより①参加者全員の氏名、②学年 (もしくは大人)、③代表者の氏名・電話番号・FAX番号、④「パン人間希望」を明記の上、美術館までお申し込みください (2月5日必着)。 ※応募一件につき2名まで記載可能です。 ※応募多数の場合は抽選となります。

#### トーク「障がいとアート つくるをささげる／つくるをつなげる」

出演：角地智史氏 (本展出品作家 / アートキャンプ新潟) 聞き手：塩田純一 (当館館長)  
日時：2月28日 (日) 14:00～15:30  
会場：新潟市美術館 講堂 ※聴講無料・事前申込不要・開場30分前・定員80名

#### アーティストトーク 折元立身 アーティストトーク 岩井成昭×ナシモトタオ

出演：折元立身氏 (本展出品作家) 出演：岩井成昭氏 (本展出品作家 / 秋田公立美術大学ビジュアルアーツ専攻教授) ナシモトタオ氏 (映像作家 / 国際映像メディア専門学校映像プロデュース科科長)  
日時：3月6日 (日) 14:00～15:30 日時：3月13日 (日) 14:00～15:30  
会場：新潟市美術館 企画展示室 会場：新潟市美術館 講堂 ※聴講無料・事前申込不要・開場30分前・定員80名  
※要当日観覧券・事前申込不要

#### 鑑賞の時間 本展担当学芸員によるギャラリートーク

日時：2月21日 (日)、3月27日 (日) 各日14:00～(約30分)  
会場：新潟市美術館 企画展示室  
要当日観覧券・事前申込不要

### 別会場開催

#### フルマチ・アートスタジオ アーティスト・イン・レジデンス 岩井成昭《ナマエラゴ》

日時：2月下旬～3月中旬 (予定)  
会場：フルマチ・アートスタジオ 新潟市中央区古町通6番町980番地 バリウスビル1階  
主催：まちなかアート・スタジオ実行委員会  
会期中、本展の出品作品と関連したプロジェクトを古町6番町内の空き店舗を活用したスペースで行います。詳細は新潟市文化政策課ホームページ <https://www.city.niigata.lg.jp/kanko/bunka/shinkou/artstudio.html>、フルマチ・アートスタジオFacebookページ [www.facebook.com/furumachiartstudio](http://www.facebook.com/furumachiartstudio) で随時お知らせします。

### 同時開催

コレクション展III「悪い絵?」 1月22日 (金)～4月3日 (日)  
Lounge N きままプロジェクト vol.3「つながるわっか」 1月5日 (火)～4月10日 (日)

新潟市新津美術館の展覧会  
Tel.0250-25-1300

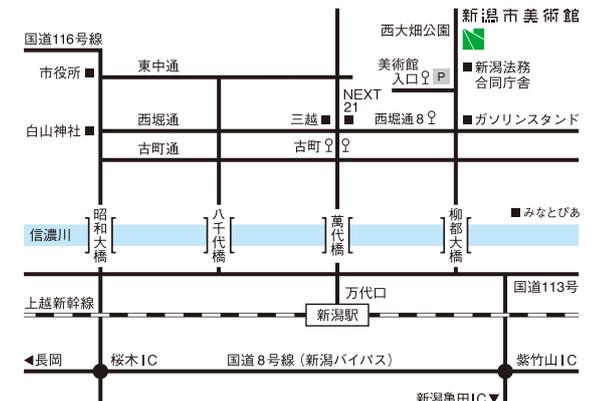
第12回新潟教育アート展 1月4日 (月)～1月16日 (土)  
東区の隠れた名品展・新津美術館所蔵品展 1月30日 (土)～3月21日 (月)

NIIGATAアートリンク 2015

スタンプラリー開催中 (～3月31日 (木))  
新潟県立近代美術館・万代島美術館、新潟市美術館、新潟市新津美術館それぞれの展覧会を見てスタンプを集めると景品を進呈 (なくなり次第終了)

### 交通のご案内

- バスで (新潟駅万代口バスターミナルから)  
A: [観光循環バス・朱鷺メッセ先回りまたは白山公園先回り] 乗車約30分  
→バス停「新潟市美術館入口」下車→徒歩約3分 ※1日14便運行  
B: [C6八千代橋線] 乗車約16分→バス停「西堀通八番町」下車→徒歩約5分  
C: [B1萬代橋ライン (BRT) など] 乗車約10分→バス停「古町」下車→徒歩約12分 (約860m)  
※最も便数が多いです  
※「古町」から [C6八千代橋線] または [C5西堀通線] 入船営業所行きに乗り継ぎもできます
- タクシーで  
新潟駅万代口から約10分
- 自動車で (無料駐車場46台)  
A: [高速道路] 日本海東北自動車道、新潟亀田ICを降り、柳都大橋経由で約20分  
B: [国道8号線 (新潟バイパス)] 紫竹山ICを降り、柳都大橋経由で約15分



## 新潟市美術館

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9  
TEL 025-223-1622 / FAX 025-228-3051  
[www.ncam.jp](http://www.ncam.jp)